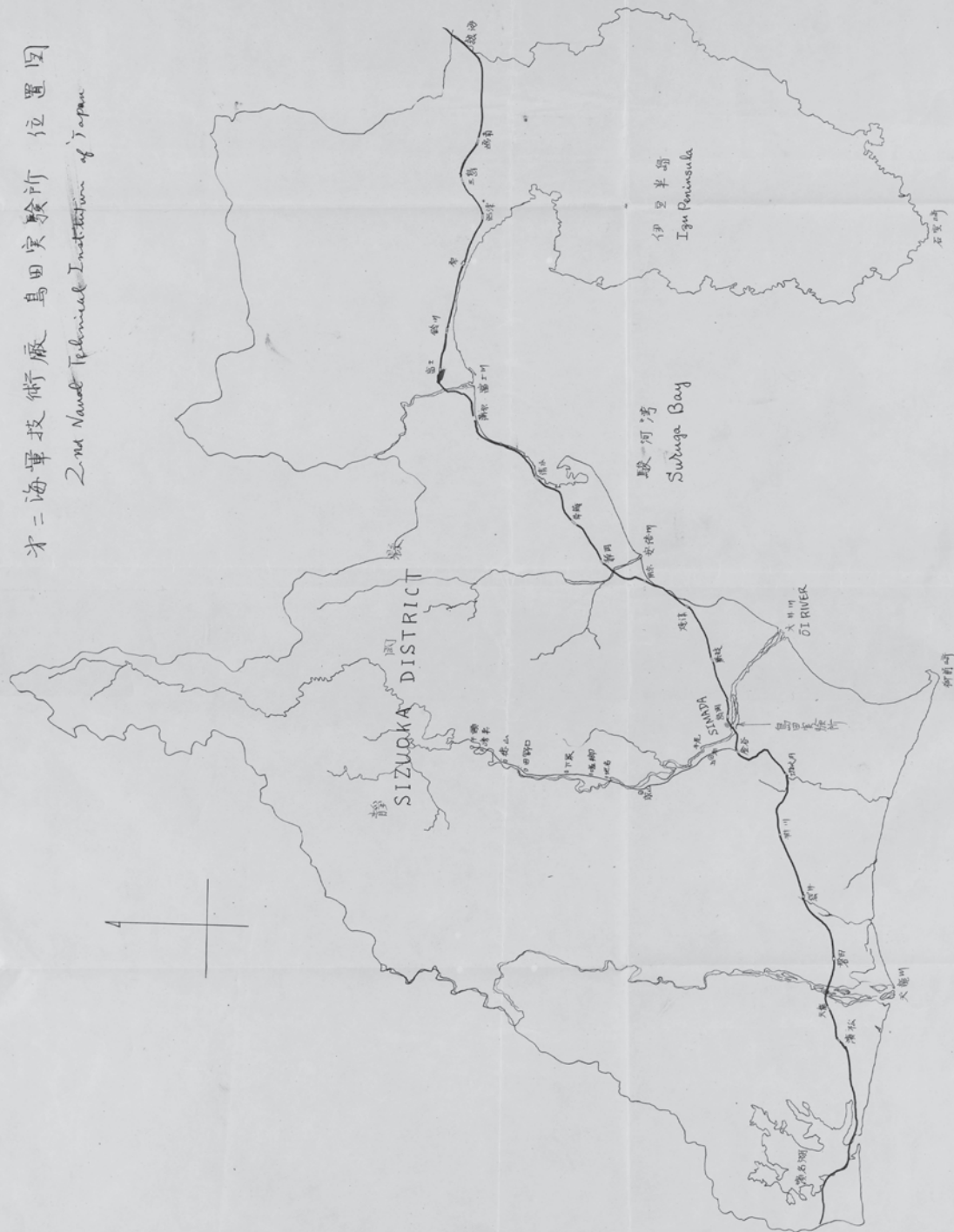


才三海軍技術廠 島田実験所 位置図

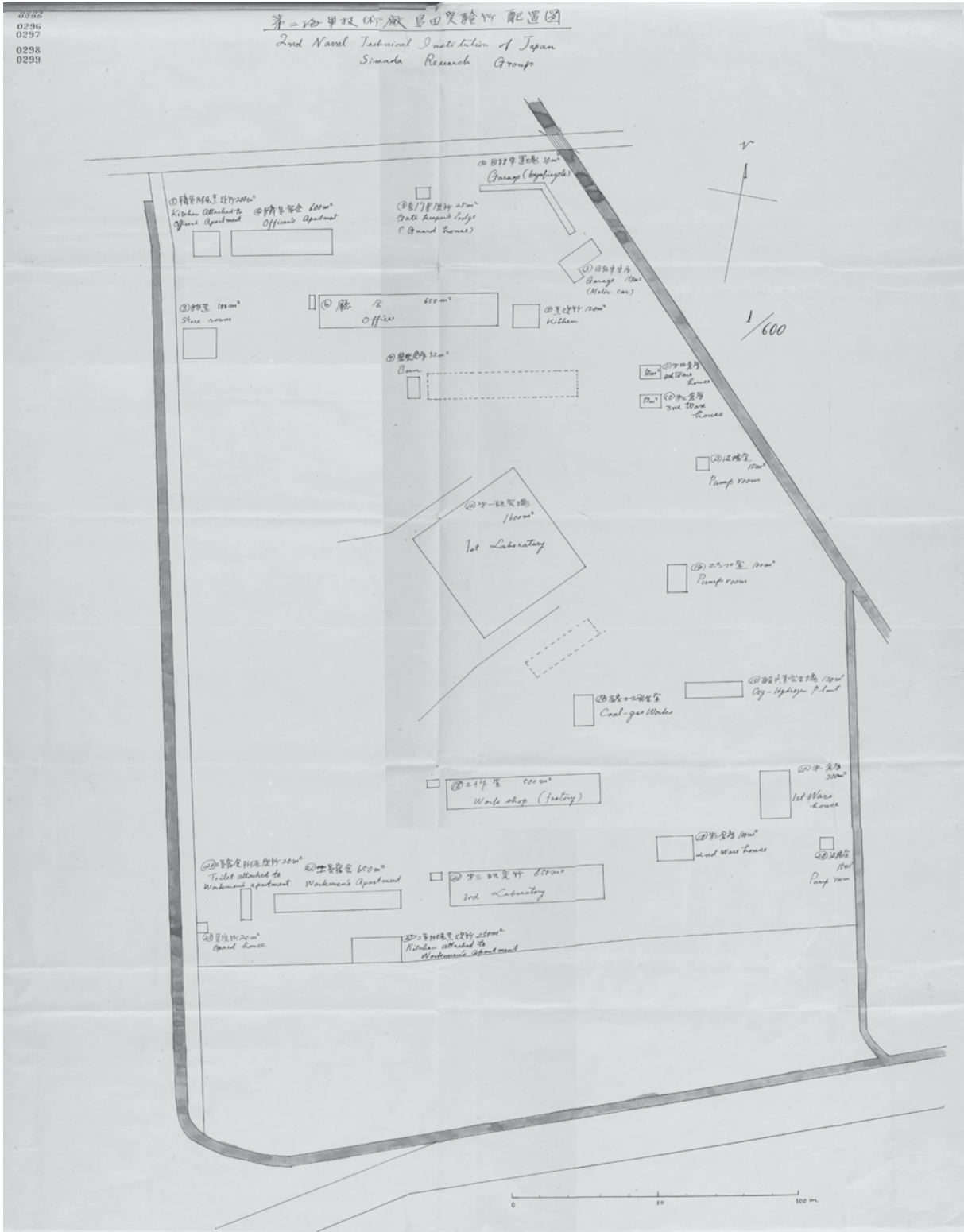
Zen Naval Technical Institution of Japan

0290
0291
0292
0293



0295
0296
0297
0298
0299

第二海軍技術廠 長岡陸軍 配置圖
2nd Naval Technical Installation of Japan
Simada Research Groups



機		機		機		機		已分	
機名	数量	場所	調製部別	機名	数量	場所	調製部別	機名	数量
硝子封止機	一台	島田町	電波兵器部	石炭瓦斯発生機	一組	島田町	電波兵器部	八〇キレン電機	一台
揚水ポンプ	五台	島田町	電波兵器部	真空爐	一台	"	"	探照燈旋回ター	一組
大型管巻振盪装置	一式	大井川鉄道 新金谷駅内	"	制御盤	四台	"	"	A装置実験具	一式
五〇キロ変圧器	一台	"	"	大型変圧器類	約六台	"	"	高圧電源設備	一式
柱上変圧器	約四台	"	"	低圧電源設備	二組	五和村牛尾	"	五和村牛尾	約六台

0301

機		機		機		機		已分	
機名	数量	場所	調製部別	機名	数量	場所	調製部別	機名	数量
小型管巻振盪装置	一式	五和村牛尾	電波兵器部	回路実験装置	一式	"	"	十米反射鏡	一基
鉄兜	約五個	島田町	電波兵器部	交換台及電話機	一式	"	"	手押ポンプ	一台
機テナル椅子	約二組	島田町及五和村牛尾	"	酸素ポンプ	一〇本	島田町	"	真空管類	少量
磁電管	各種少量	島田町及五和村牛尾	"	火拂塵	少量	"	"	齋口	少量

兵		兵		已分	
兵名	数量	場所	調製部別	兵名	数量
探照燈	一基	島田町	電波兵器部	戦斗機電話	二組
二号電波探照儀	約八組	五和村牛尾 島田町	"	隊内通話機(伝音機)	一組

0303

資		資		資		資		已分	
資名	数量	場所	調製部別	資名	数量	場所	調製部別	資名	数量
電線類	約一〇〇袋	島田町	電波兵器部	硝子類	約木箱一〇	島田町	"	電線類	約一〇〇袋
金属材料	約少量	五和村牛尾	"	耐火煉瓦	約一〇〇個	島田町	"	炭素接地子	二箱
空袋	一五〇枚	"	"	大型水銀整流管	一個	五和村牛尾	"	水型乗用車	一台
電線類	約一〇〇袋	島田町	電波兵器部	トランプ	約六本	五和村牛尾 島田町	電波兵器部	トランプ	約六本

三 国有財産に関する綴

牛尾山軍用地の返還陳情書

昭和二十二年十二月十三日

陳情書

昭和二十年三月、海軍施設部に於て私共の所有地内に海軍防備施設を施す事になりまして、同年三月四日日本村役場に、海軍施設部並に島田海軍実験所の保官各位御来場になり、本村々長立会の上、土地関係者数十名を集め土地家屋買収のご相談を受けまして、其席上に於て係官殿より、私共の家屋買収の上は、移住に要する建築資材は全部施設部に於て供給し、移転費等も保証し、移住に何等の困難を来さぬ事を保証し、尚此防備施設は、戦争に勝んが為めの、特急施設であつて、決して永久的に軍の使用するものではないから、戦争が終れば必ず元の居住者に、無償返還して呉れるとの事も併せて誓つて呉れましたので、私共は全く係官殿の保証して下さつた其御言葉を信じ、殊に戦局はいよいよ深刻になつて、勝つか敗けるかと云う境にまで追い詰められた場合であるから、是非共軍に協力して貰い度いと、御言葉もありましたので、私共は直に、買収に応ずる旨を承諾し、土地家屋一切を軍に提供し、家具、家財等は親戚知己等へ預入れ、家族を引連れ、一と先づ親戚へ立退き、以来御約束により、施設部に対し建築資材並に移転費を屢々御請求致したので御座いますが、何分当時の施設部は広範囲に渉る施設の関係上か責任者も度々変りたる為め、私共が如何に最初の御約束の実行を迫りましても、施設部としては、前責任者はどの様の保証を致したか知れぬが、現在の施設部に於ては、資材極度の不足にて、如何とも供給するの道なしとて、少しも供給して呉れず、且つ移転費用等も支払わず、最初の御約束は更に御実行下さらず、私共は取りつく島もなく、全く途方に暮れ、止むなく、島田海軍実験所

其他各方面へ、資材獲得の運動を続けて参つたので御座いますが、遂に何一つ資材を得るに至らなかつたので御座います。私共は住家を失ひ又耕地を失ひ、農業者としての生活も出来ず、殊に同じ親戚に長く同居する事も赦されず、親戚間を転々としつゝ、三月以来只々住家を得ん為め、建築資材の獲得に東奔西走、全力を尽して参つた有様で、働く事も出来ず、何一つ収入の道とてなく、買収金を以て生活費に充て、其日を過ごして参つたので御座います。八月に至り終戦となりましたので最初軍の誓われた無代払戻しを信じ、払戻方について、各方面へ運動を起したので御座いますが、何分当時連合軍の接收が済まず、一日も早く接收済となる事を希い、此払下運動に再び浮身をやつす身となつたので御座いまして、私共の生活はどん底に陥り、其日に喘いで居つたのであります。此間に於て、村長殿を初め
地方事務所長等も非常に御心配下さいます、元住宅払下げの速進（ママ）運動を起し、御局へも再三御懇願に参り、陳情書等いろいろの書面を提出致しまして、一日も早く元住宅の低価払下げの願われる様、御懇願申上げた次第で御座います。其後昨年十月に至り、御払い下げの前提として、元の住宅へ帰る事を御許可になりましたので、低価御払下げを、御懇願致してあります場合、全く安心して十一月に帰り、家屋破損の修理、荒廃せし耕地の復旧に挺身してまいつたので御座いますが、最近の新聞紙上には、軍関係の建物は、政府の御方針として払下価格が相当高価である様見受けられますが、私共の住宅は前述の如く、最初の御約束が、移住に要する建築資材の供給、移転費の保証、終戦後に於ける無代払戻し等を条件として、時下を問題とせず、施設部で極められた価格を以て提供致したもので御座いまして、軍に於れても登記もせず、其儘私共の所有にして置かれたものと存じます。私共も地租、家屋税等、今日まで租税の負担もして参つた次第で御座いますから、新聞紙上にありました高価払下の建物の内へは、含まれて居らぬ事とは存じますが、

万一私共の住宅も同じ様な御方針であると致しますと、私共の資力に於ては到底御払下げを受ける事は至難で御座います。前申上げました通り、買取代金は、立退次来永い間の生活費や、資材獲得の為に奔走致した費用等に費い果して、今は全く資力を失い、不遇の生活を送つて居る様な次第で御座います。何卒、右の事情御覧察下さいまして、私共の資力に於て、私共の住宅が全く私共の手に帰り、安心して食糧増産に挺身出来ませう様、事情御斟酌の上、特別の御詮議により御払下げ願度、三名連署を以て、此段陳情に及ぶ次第で御座います。

昭和二十二年十二月十三日

静岡県榛原郡五和村牛尾一四六七番地

同所

八木 文平[㊦]

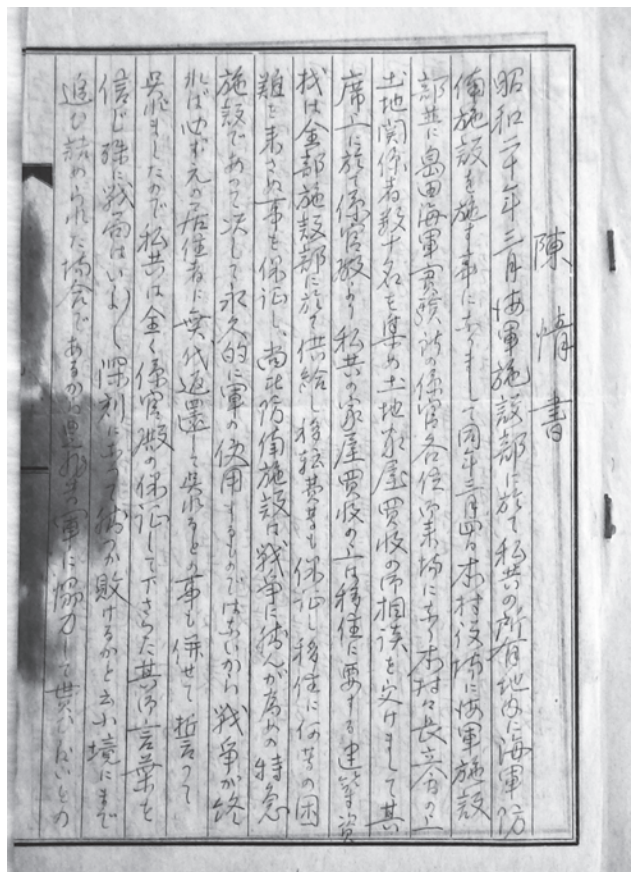
同所

生田猪太郎[㊦]

田中 銀蔵[㊦]

名古屋財務局長殿

(金谷町文書 『金谷町史 資料編三 近現史』より)



海軍技術廠牛尾施設の転換計画

庶第六九三号

昭和二十三年九月八日

昭和二十三年九月八日 榛原郡五和村長

山田 寛司印

名古屋財務局藤枝出張所長殿

中央処理事項に付いて

貴発国第三九一号による標記の件、当方にては確実に二部提出致しましたが、今般のご依頼により追加御送付申し上げます。既送二部の件に関しては、尚良く御調査願ひ上げます。

記

別紙調査書

(別紙)

一、申請者調

(イ) 代表者住所氏名其の他

静岡県榛原郡五和村役場 村長 山田寛司

電話 金谷一二四番

二、転換計画

(イ) 申請施設類の名称及所在地

榛原郡五和村牛尾

元第二海軍技術廠島田実験所牛尾施設

(ロ) 同右現状概況及希望土地建物坪数等

土地 八町七反三步(宅地四五八坪、畑三町三反九畝九歩、田

一畝、雑種地六反四畝二十八歩、山林三町四反六畝二十二歩)
建物 表門見張所、第一、二、三、四倉庫、第二研究室、電源室

発振室、工員住宅事務室及廠舎六棟、総計六四七坪

七七

(二) 同右転換計画(機械類なし)

1、榛原郡外地引揚者互助会の厚生施設 一九〇坪七〇

「右の内(朱書)一一一五坪七〇を昭和二十三年一月八日焼失一月十日付報告済み」

2、榛原郡五和村農業会製茶再製工場 二二四坪五〇

3、農業用住宅 九九坪五

五和村牛尾八木文平(元所有者)

4、同 三四坪二五

同 田中銀蔵(同)

5、同 一一二坪八二

同 生田猪太郎(同)

(リ) 払下、貸下希望価格其の他

貸下料 御指定通り(土地、建物共夫々二十二年度迄納入済み)

払下料 海軍本来の施設は適宜御指定願ひ上げ度きも、住宅については

度々の陳情書の通り海軍施設設置の為、半ば強制的に立退きを命ぜ

られたるものに付、特別の御詮議を願ひ上げ度い尚又焼失建物一五

坪七は、名古屋財務局長を受取人として金六万円の保険契約をして

あり、右保険金受領に関する関係書類は、総て貴局宛送付してある。

(ヲ) 民施設を選ばず当該施設を選定せる理由

1、外地引揚者互助会

外地引揚者救済の急務と、当時適当なる民施設無く、加ふるに資材不

足と、

足の為、既設のものを至急必要とせるによる。

2、農業会製茶再製工場

資材不足の為、農業工業化の一端として製茶再製事業を農業会に設置したきも、他に適當なる物なき為。

3、個人住宅

前述の如く戦局日に非なる時、軍の重大施設と称し強制的立退を命ぜられ、一時知人宅に仮寓し他に住居なきによる。

(カ)申請者の本申請以外の全体計画

無し

(金谷町文書 『金谷町史 資料編三 近現史』より)

